

競技会期間中のチームの事故および病気等の対応について

1. チームスタッフよりチームが事故および病気等で大会関係者に及びJVA等に連絡があった場合の連絡網。

大会およびJVAスタッフ⇒大会委員長（2会場以上であれば各会場の責任者と連絡）
⇒JVA事務局長、（必要であれば）JVA会長

チームとの対応は大会委員長が監督と連絡をとり対応をする。また、大会およびJVAスタッフは情報収集のためにチームスタッフと連絡をする。

2. チームからの報告収集について

- (1) 事故・病気の発生日時
- (2) 事故・病気の状況・症状とチームの実情
- (3) 事故・病気の警察等や医師の診断、病名の報告

3. 特に病気の場合

- (1) 医師からの病名の確認と症状の確認
 - ①病気に対する他人への感染の可能性について
 - ②試合に出ることができるか医師の意見を伺う
 - ③チーム全体の状況について
 - ④病気に対する対応策（消毒、手洗い、うがい）
- (2) 大会委員長は会場の医師や他の医師から病気の情報収集して、その病気の実態を把握する。
- (3) 病気発生以前のチームの状況について（病気の症状）
- (4) チームの試合スケジュールと会場の確認
 - ①当該チームの試合の日時と試合順序、開始時間、対戦チーム等の確認
 - ②モッパー、ボールリトリバーが中学生・高校生・大学生かを確認
 - ③一般客との接触エリアがあるのか確認
 - ④チーム更衣室等、および動線の確認
- (5) 病気の対応する予防について
 - ①消毒（手洗い、うがい等）の徹底
 - ②使用用具、用品の区分けの徹底

4. チームが試合に参加するかの決定について

- (1) 試合に参加する、しないはチームが決定をする。JVAは大会を開催する。試合に参加する、しないはチームが決定する。
- (2) インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症については、チームからの試合辞退する方向で対応する。
- (3) 大会委員長、事務局長、（できれば会長）が判断をする。医師等の意見を重視して判断をする。